

第3回 Astra!実行委員会 ディスカッション記録用紙

ルーム 4

記録者： 櫻田

参加者名

中塚委員(JA 長野中央会)、桂本委員(長野県小学校長会)、酒井教授(信州大学)、清水教育次長(教育委員会事務局)、徳竹係長(農政部農業政策課企画係)

ディスカッション1

【テーマ:Astra!メンバー(児童生徒の参加者)の選抜基準・選抜方法について】

- ・書類選考のところで生成 AI を使って作られると…。素朴な意欲・関心を知りたい。
- ・複数名で評価することを大切にしていきたい。
- ・中1の子はチャンスが1回しかないので選考する人数配分を考えたい。
- ・その子の経験、考え思いがわかるような内容に。
- ・科研の評価のようにカットポイントの評価を丁寧に。

【主な意見・アイデア】

- ・中1の子はチャンスが1回しかないので選考する人数配分を考えたい。
- ・科研の評価のようにカットポイントの評価を丁寧に。

【印象的だった意見・キーワード】

- ・学年ごと選考する人数を変える、中学1年生は多くなるように。

ディスカッション2

【テーマ:ガチながについて、寄付募集の協力について】

- ・農家向け情報発信(広報)であれば、農政部が協力できる。寄付までは望めなそう。
- ・知事部局として広報費はあるので、うまく使えないか。
- ・制度だけでなく個人的に働きかけないと上手くいかない。
- ・県の PTA 連合会、退職校長会に働きかけはできそう。
- ・子どもたち自身が CM、PR の活動を取り入れてもいいのでは。
- ・現役の先生にどうにかアプローチできないか？アナウンスはできそう。
- ・インセンティブを含めて考えていかないと寄付につながらない？
- ・理念が漠然としていると協力しにくくなってしまわないか。
- ・地域や協賛企業を学んで子どもたちが SNS 等で発信するのもあり！？
- ・協賛企業の HP に飛べるリンクやバナー
- ・会議の際に教育長挨拶などの後に協賛していただいている方に語ってもらう。
- ・アストラ紹介動画に協賛者にも出ていただく。
- ・個人の保護者等が寄付するのは考えにくい、何か工夫を 高校の同窓会は？

【主な意見・アイデア】

- ・インセンティブを含めて考えていかないと寄付につながらない？
- ・理念が漠然としていると協力しにくくなってしまわないか。

- ・地域や協賛企業を学んで子どもたちが SNS 等で発信するのもあり！？
- ・協賛企業の HP に飛べるリンクやバナー
- ・会議の際に教育長挨拶などの後に協賛していただいている方に語ってもらう。

【印象的だった意見・キーワード】

- ・理念を明確にすること、インセンティブまで考えて寄付を募る。
- ・子どもたち自身が考えて行動する。SNS で紹介など。
- ・探究に関する大規模なフェスティバル・イベントの開催を目指すのも良い。